

出猟記録の分析結果の報告(Ⅰ)

—ニホンジカ編—

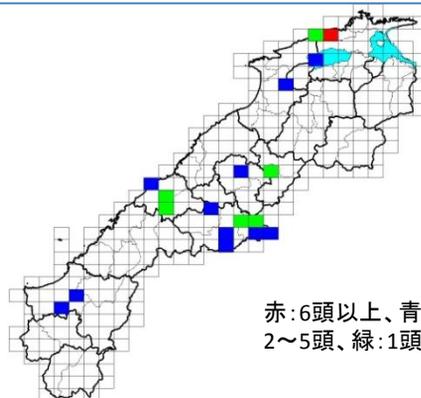
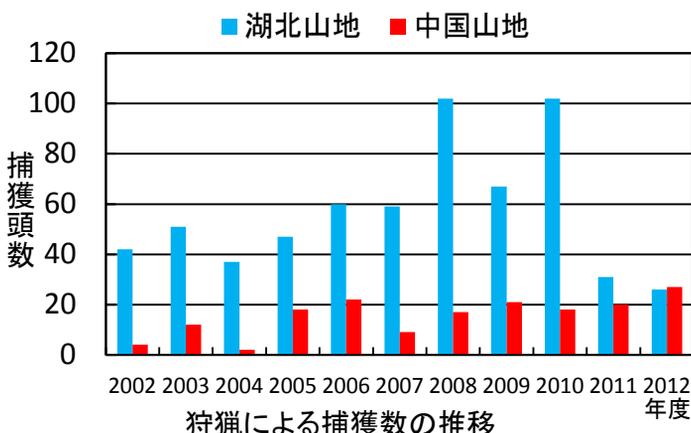


—島根県の狩猟者のみなさまへ—

毎年、「出猟記録」へご協力をいただき、ありがとうございます。この分析によって、ニホンジカの生息分布域や生息密度を把握することができました。分析した結果の一部を紹介します。



狩猟による捕獲数と捕獲場所



狩猟による捕獲場所(2010年度)

中国山地でシカの捕獲数が少しずつ増加していることがわかりました。一方、2011年度から出雲市では狩猟期間中に捕獲したシカ(個体数調整捕獲に計上)にも捕獲奨励金を出したことから島根半島湖北山地での狩猟の捕獲報告は減少しています。

中国山地の邑南町など広島県境の町を主体にシカが捕獲されていることがわかりました。これらは、広島県から分布を拡大してきたシカだと考えられます。

目撃効率(WPUE)による生息密度の推定

2012年度の狩猟時の目撃効率(狩猟者1人1日当たりの目撃数)は、島根半島では**0.317頭**と高かったのに比べて、中国山地では**0.002頭**と1/150程度と低かったことから、ここでのシカの生息密度はきわめて低いと考えられました。

今後の生息数の管理

中国山地の広島県境に接する町を主体にシカが少しずつ増えていることがわかりました。今後、シカによる農林業への被害発生が心配されます。そのため、シカが増えすぎないように捕獲をしていく必要があります。そして、今後のシカの生息動向を知るためには、**皆様からのシカの捕獲や目撃報告が重要なデータ**となります。

シカ対策に役立てますので、今後も出猟記録へのご協力をお願いします。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

